

戦争と平和 (1956)

WAR AND PEACE

メディア 映画
 ジャンル ドラマ 文芸
 製作国 アメリカ/イタリア
 色彩 Color
 時間 208分
 初公開日 1956/12/22
 公開情報 P A R
 リバイバル 1973/08 [C I C]

【キャッチコピー】

ロマンとスペクタクルの壮麗な超大作
 生と死、愛と苦悩…… 壮大な歴史のなかに描かれた 人生の真実が いま、ここによみがえる

【解説】

トルストイの同名小説を基にした戦争大河ドラマ。19世紀の帝政ロシアの末期、ロシアを巻き込んだ戦争を背景に、貴族の私生児ピエール（H・フォンダ）と伯爵令嬢ナターシャ（A・ヘプバーン）の恋愛劇を描く。

19世紀、帝政ロシア末期のモスクワ。フランス軍の侵攻がささやかれる中、貴族の私生児ピエールはロストフ伯爵の令嬢ナターシャに想いを寄せていた。そんなある日、親友アンドレイ公爵から知らせを受け、危篤の父を看取るピエール。やがて彼は、亡くなった父の莫大な財産を相続し、それを目当てに接近してきた貴族令嬢ヘレーネと結婚することに。一方、アンドレイは妊娠した妻を残して戦地へ赴くも敗戦の憂き目に遭い、負傷帰還兵となってしまう。そんな彼は、いつしかナターシャと愛し合うようになるのだが…。

【クレジット】

監督	キング・ヴィダー	King Vidor	
協力監督	マリオ・ソルダーティ	Mario Soldati	
製作	ディノ・デ・ラウレンティス	Dino De Laurentiis	
製作総指揮	カルロ・ポンティ	Carlo Ponti	
原作	レオ・トルストイ	Leo Tolstoy	
脚本	ブリジット・ボランド	Bridget Boland	
	マリオ・カメリーニ	Mario Camerini	
	エンニオ・デ・コンチーニ	Ennio de Concini	
	イヴォ・ペリリ	Ivo Perilli	
	キング・ヴィダー	King Vidor	
	ロバート・ウェスタービー	Robert Westerby	
撮影	ジャック・カーディフ	Jack Cardiff	
	アルド・トンティ	Aldo Tonti	
音楽	ニーノ・ロータ	Nino Rota	
出演	オードリー・ヘプバーン	Audrey Hepburn	ナターシャ
	ヘンリー・フォンダ	Henry Fonda	ピエール
	メル・ファーラー	Mel Ferrer	アンドレイ
	ヴィットリオ・ガスマン	Vittorio Gassman	

ハーバート・ロム	Herbert Lom
アニタ・エクバーグ	Anita Ekberg
オスカー・ホモルカ	Oskar Homolka
メイ・ブリット	May Britt
アンナ・マリア・フェレーロ	Anna Maria Ferrero
ジェレミー・ブレット	Jeremy Brett